

令和5年度
事業報告書
-第21号-



社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター

ごあいさつ

所長 堂園 文

平素より、障がい者就労支援センターの事業運営について、ご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和5年7月に障がい者就労支援センターは、発達障がいのある方の支援体制の強化のため、福岡市舞鶴庁舎に移転し、新たなスタートを踏み出しました。

これもひとえに、センターの事業をご理解、ご支援いただいた、企業の方をはじめとした関係者の皆さまのおかげと深く感謝しております。

障がいのある方の令和5年度の就労状況は、全国、福岡県ともに過去最高を記録しています。とくに福岡県では、新規求職申し込みが12,292件、ハローワークを通じた就職の件数が5,342件と3年連続で右肩上がりになるなど増加の一途をたどっています。中でも、精神障がい者の伸びが顕著となっていますが、障がいの種別を問わず障がいのある方々が、地域で、様々な職種に就き活躍している姿を垣間見る機会が増え、支援に携わる者としても大変嬉しく感じております。

ご承知のとおり、障害者雇用促進法の一部改正により法定雇用率の引き上げや除外率の引き下げ等も段階的に実施されることになっています。今後、企業の皆さまが取り込まれる障がい者雇用の動きがますます活発になるものと思われませんが、ただ、最近はこのような積極的な動きの中で障がい者雇用の量的拡大だけではなく、働き方の質、雇用の質にも注目が集まっており、わたくしたち支援者にもその双方の質の向上を目指した支援が求められています。当センターでは、それらのことを念頭におき、障がいのある方が個々の強みを発揮できる環境と職場の求めるニーズがマッチングできるような雇用の実現を目指し就労支援を進めております。

また、発達障がいのある方の就労支援についても、発達障がい者支援センターとこれまで以上に密に連携を図りながら、障がいのある方がやりがいを持って仕事に携わり、生活がより充実するように、そして企業が障がい者雇用にむけて安心して一步を踏み出すことができるよう、日々の研鑽、専門性を活かした支援の充実に向けて参りたいと思っております。

引き続き、職員一丸となり、障がいのある方やご家族への支援をはじめ、企業支援、事業所支援に尽力して参りますので、今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

目 次

概 要

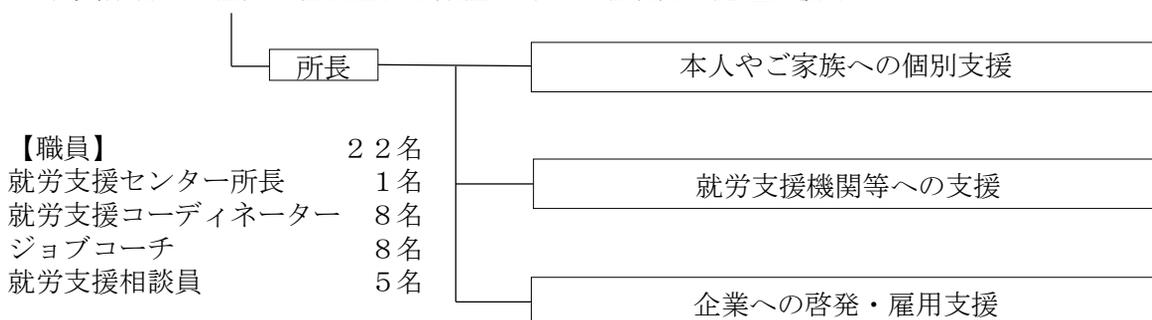
福岡市立障がい者就労支援センター概要	1
福岡市立障がい者就労支援センター沿革	3

事業実績

1. 相談の状況	4
2. 登録者の利用状況	4
3. 支援の状況	5
4. 就職者の状況	5
5. 事業実施の状況	7
6. その他	11

福岡市立障がい者就労支援センターの概要

1. 名称 福岡市立障がい者就労支援センター
2. 所在地 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号 福岡市舞鶴庁舎4階
電話 092(711)0833 F A X 092(711)0834
3. 目的 障がい者の民間企業等への就労や職場定着を促進するため、本人や家族、企業・関係団体等からの相談に応じると共に、職場開拓やジョブコーチ派遣等による人的支援など、障がい者雇用の支援を実施することによって障がい者の就労促進を図ることを目的とする。
4. 開設 平成15年4月1日 (令和5年7月1日より指定管理)
5. 設置 福岡市
6. 管理運営 社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団 (福岡市より指定管理者として選定)
7. 職員体制 福岡市社会福祉事業団 障がい者就労・発達支援課



8. 管理運営業務

(1)障がい者の相談・支援事業

障がい者本人やその家族などからの相談に対応する。相談内容により、障がい者を適切な就労支援機関につなげるため、就労に関するアセスメント（職業評価）を実施するなど、個々の障がい者に応じた対応を行う。

(2)民間就労支援機関への支援

- ①市内の民間就労支援機関の職員を対象とした研修会を年間3回以上実施する（企業との意見交換会等を含む）とともに出前講座（事業者内研修等への講師派遣）を実施する。
- ②企業や実習先に関する情報提供する。
- ③民間の就労支援機関からの利用者を支援する上での相談為対して、アセスメント（職業評価を含めた助言等を行う）。

(3) 企業への支援

- ①企業からの障がい者を雇用する上での相談に対応するため専用の電話やメール等の窓口である障がい者雇用サポートデスクを運営し、企業へ啓発・助言を行う。
- ②障がい者雇用に関する企業向けのセミナーを年3回以上開催する。
また、出前講座（社内研修等への講師派遣）を実施する。
- ③在職者を対象とした就労ソーシャルスキルトレーニング（SST）講座の実施や、ジョブコーチを派遣し、企業等での障がい者に対する業務指導及び職場定着に必要となる生活面の支援を行う。
- ④企業等に対し、障がい者雇用に対する理解促進に向けた広報・啓発活動により、障がい者の就労を促進する。

(4) 関係機関との連携等

- ①就労を希望する発達障がい者については、発達障がい者支援センターと連携・協力して対応する。また、民間の就労移行支援事業所、企業等にとって就労への困難度が高い、長期的な支援を必要とする障がい者に対して、公的な機関として、きめ細かく対応していく。
- ②大学、短大等の教育機関と連携し、礼儀、挨拶、身だしなみなど、ビジネスマナーに関するスキルアップセミナーとして、3回の講座を年間2サイクル実施する。
- ③区障がい者基幹相談支援センター等の関係機関に対し、就労支援機関に関する情報提供、研修等を行う。
- ④公共職業安定所等の労働関係機関との連携を密にし、福祉・教育・企業等とのネットワークをつくり、それらをつなぐ役割を果たし、効果的な支援を行う。

(5) その他の支援

障がい者インターンシップ事業として、就労を目指している障がい者に、側場実習の場として福岡市庁舎や区役所等を提供することを目的に、実習生の決定、実習時期・内容の組み立て、ジョブコーチの派遣等を行う。

(6) 研修室等の貸出

障がい者団体等に対し、条例、規則に基づき講習室、研修室等の利用提供を行うこと。

(7) 広報、啓発事業

ホームページの活用を行うなど、事業の広報に努めること。

また、障がい者への理解を深めるため、地域、校区の住民や福祉関係者の施設見学、研修等を積極的に受け入れ、啓発を行うこと。

9. 沿革

年 (平成)	月	内 容
13	4	福岡市障害者就労施策検討委員会が設置される
	11	福岡市障害者就労支援施策検討委員会第一次報告書で「福岡市障害者就労支援センター（仮称）」の設置が提案される
14	6	福岡市障害者就労支援センター（仮称）の運営事業者募集その後、審査委員会が開催される
	8	社会福祉法人福岡市社会福祉事業団が運営事業者に決定する
	10	開設準備室を設置する（平成15年3月まで）
15	3	福岡市障害者就労支援施策検討委員会第二次（最終）報告書が発行される
	4	福岡市障害者就労支援センター開所（1日） 開所記念式典を行う（7日）
17	2	障害者の態様に応じた多様な委託訓練の実施に係る協力を始める
	4	福岡市障がい者就労支援センターに名称を変更する（1日） 福岡市障がい者インターンシップ事業を受託する
	7	知的障害者県職場体験実習事業（福岡県）に協力を始める
19	4	パソコン講習等事業を受託する 障がい者職場定着促進事業を受託する
20	4	同業種交流会事業を実施する
21	4	就労支援相談員事業を開始する 就労移行支援事業所への技術的支援事業を開始する
22	4	登録者等管理システムを導入する
28	5	中央区長浜に事務所を移転する
29	7	障がい者雇用サポートデスクを設置する
令和元	3	知的障害者県職場体験実習事業（福岡県）終了
令和4	7	社会福祉法人福岡市社会福祉事業団が福岡市立障がい者就労支援センターの指定管理者に選定される
令和5	7	発達障がい者支援センターとともに中央区舞鶴に事務所を移転する

10. 建物概要

福岡市舞鶴庁舎 鉄筋コンクリート7階建4階 （約84.3㎡）

事業実績

1 相談の状況

障がい者やその家族からの相談に対応し、必要に応じて職場体験実習や雇用の際にジョブコーチ支援等を行った。また企業、関係機関等からの就労・雇用に関する各種相談に対応した。

(1) 相談総件数

(単位：件)

本人・家族	企業	関係機関	計
3,977	1,349	1,770	7,096

(2) 本人・家族相談のうち：障がい別総件数

(単位：件)

身体	知的	精神	発達	その他	計
313	1,197	1,307	1,105	55	3,977

※令和4年度に相談対応した登録者の延べ人数（令和4年度新規登録者を含む）

(3) 本人・家族相談のうち：相談の方法別

(単位：件)

来所	所外・訪問	アセスメント	面接同行	電話	FAX	メール	計
836	519	142	52	2,312	7	109	3,977

2 登録者の利用状況

障がい者やその家族、関係機関等からの相談に応じ面談を行った。その内、支援を希望された方は、登録後、個別支援計画を策定し継続的に支援を行った。

(1) 新規登録者の状況（実人数）

①障がい別

(単位：件)

身体	知的	精神	発達	その他	計
18	18	65	21	7	129

※その他：いずれの区分にも属さず、またいずれの手帳も取得していない人

②年代別

(単位：件)

10代	20代	30代	40代	50代以上	計
10	52	18	25	24	129

※登録時の年齢

(2) 当初からの累積登録者数

①障がい別

(単位：人)

身体	知的	精神	発達	その他	計
890	1,424	1,228	445	51	4,038

3 支援の状況

障がい者、その家族、企業等に対し、個別のニーズに応じてジョブコーチ支援等を行った。

(1) ジョブコーチ支援数

(単位：件)

事前支援	集中支援	フォローアップ	計
164	360	1,061	1,585

※事前支援：面接同行、事前の通勤練習や打ち合わせ等の支援

※集中支援：職場内外での集中的な支援

※フォローアップ：採用後、職場定着に向けた継続的な支援

(2) 職場実習の状況

(単位：件)

当センター 職場体験実習	障がい者イン ターンシップ	計
71	8	79

※障がい者インターンシップは事業団内での実習を含む

(3) ケース会議の実施数及び対象障がい別

実施回数	身体	知的	精神	発達	その他	参加機関数
9回	0人	2人	3人	4人	0人	20事業所

※センターを含め3者以上の機関でケース会議を実施したもの

4 就職者の状況

障がい者、その家族、企業等に対して、個別のニーズに応じて関係機関の紹介や職場実習の実施、ジョブコーチによる職場定着支援などを行い、企業就労（継続）に至った。

(1) 就職者数 (延人数)

(単位：人)

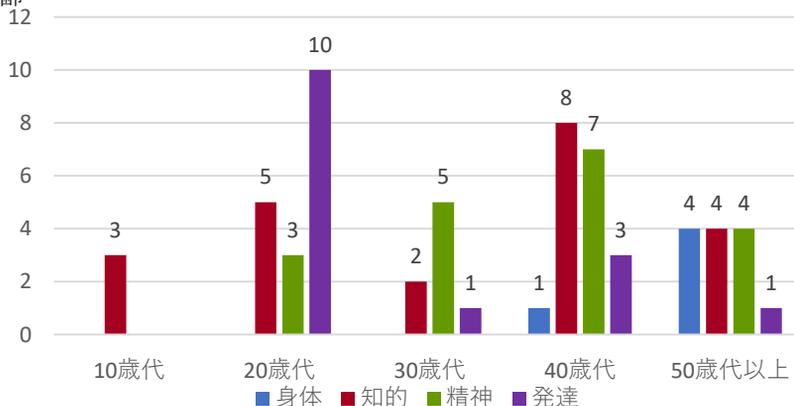
区分	身体	知的	精神	発達	その他	計
総数	5	22	19	15	0	61

(2) 就職者の年代別

(単位：人)

10代	20代	30代	40代	50代以上	計
3	19	7	19	13	61

※就職時の年齢



(3) 就職時の状況

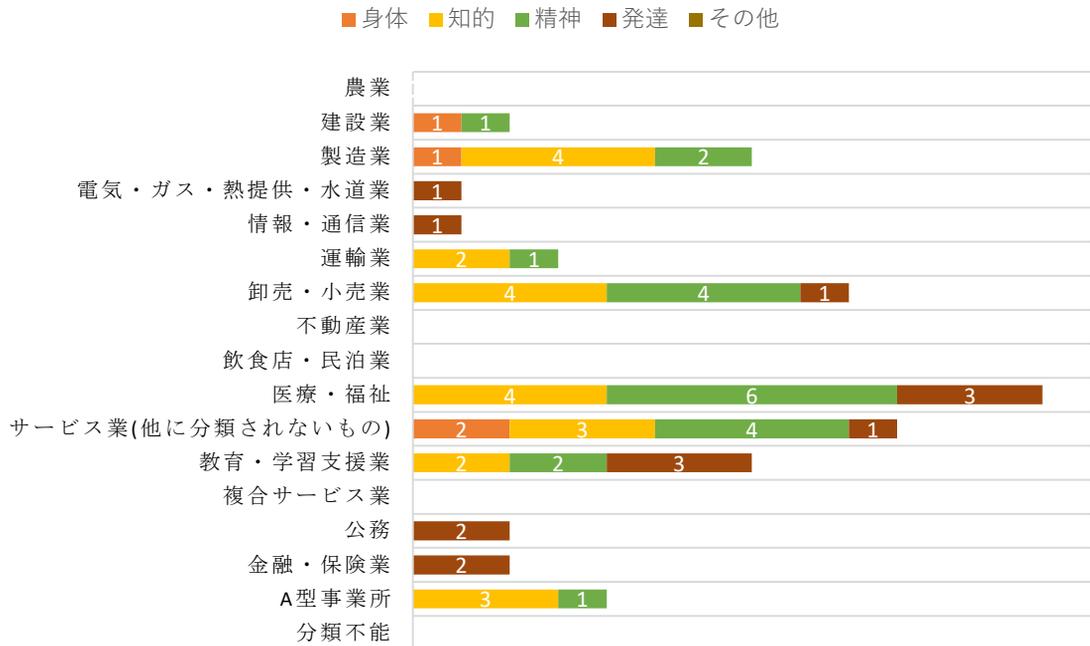
(単位：人)

区分	在宅	福祉事業所		就労中		在学中		その他 ※2	計
		就労移行	その他※1	企業	A型事業所	特別支援	その他		
年度計	43	0	2	11	2	1	2	0	61

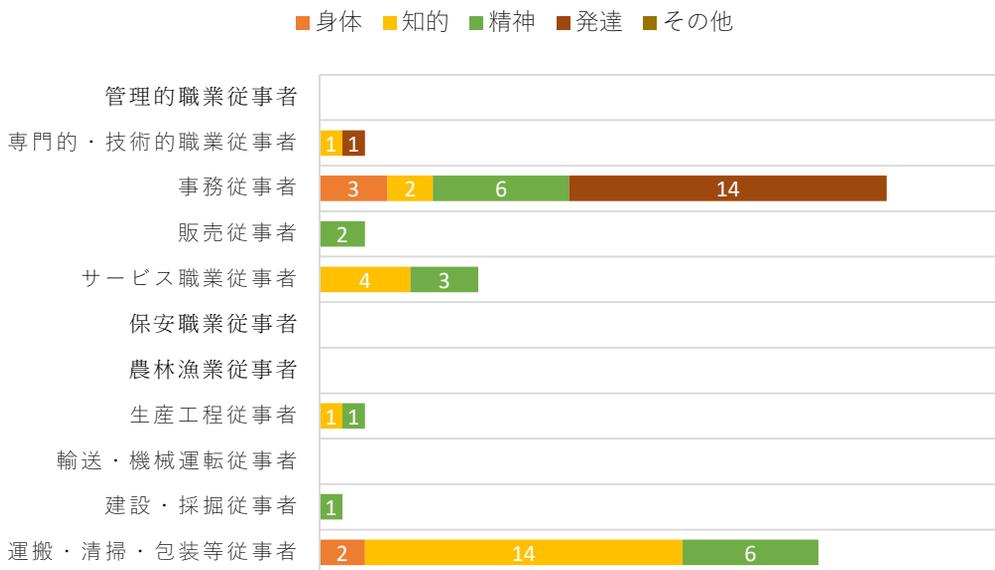
(※1) B型事業所・生活介護事業所・自立訓練事業所等

(※2) 左記に含まれない事業所

(4) 就職者の産業分類別



(5) 就職者の職業分類別



※日本標準職業分類に基づき分類

5 事業実施の状況

(1) インターンシップ事業

福岡市庁舎や区役所及び事業団において、職場実習の場を提供することにより、障がい者の社会参加、就労への支援とともに障がい者理解の促進を図った。

実施件数 (件)	8
----------	---

(2) 職場定着促進事業

就労に向けた準備や就労継続へのモチベーションの維持及びビジネススキルの向上を目指し、意見交換や交流ができる場を提供した。

①スキルアップセミナー

就職活動中に必要な知識や技能の習得のため、講義（ビジネスマナー等）や企業見学、模擬面接を行い早期就労を目指した。

受講後は、インターンシップ事業やサポーター企業を活用して職場体験実習を実施し、教育機関へフィードバックを行った。また、希望者には、その後の求職活動を大学等と連携して行い、就職や職場への適応・定着への支援を行っている。

区分	開催月	実施日数	内容	延べ参加人数
第1回	8～9	5	講義：就労のイメージ作りや履歴書の書き方など 演習：意見交換・面接ロールプレイ 企業見学：ENEOS グローブエナジー株式会社 九州地理情報株式会社 株式会社ナカノ商会 株式会社紀伊國屋書店 株式会社九州三喜	39
第2回	2～3	5	講義：就労のイメージ作りや履歴書の書き方など 演習：意見交換・面接ロールプレイ 企業見学：株式会社総合メディカル 株式会社新日本製薬	35

対象：大学、短期大学、専門学校、高等学校の在學生、第2新卒者

※サポーター企業 短期間働くことを体験できる職場体験実習協力企業

②在職者を対象とした就労SST講座

企業のニーズを踏まえ、在職者を対象に、対人適応スキルの獲得・向上を目指してグループによる研修を実施した。 *SST：ソーシャル・スキル・トレーニング

・在職者を対象とした講演会

開催日	内容	参加人数
8月3日 会場開催及び 動画配信	講演「働き続けるために」 講師 株式会社九州日立システムズ 人事総務本部 統括本部長 河野 宏子氏 在職者 1人	72

※8月17日～25日迄 動画配信

・就労SST講座

講師：SST普及協会認定講師

対象者：在職者

実施日数	延べ参加人数
8	48

※SST：ソーシャル・スキル・トレーニングとは、学習理論に基づき、体系的、意図的に対象者の社会的スキル形成を図る構造化された援助方法

(3) 障がい者就労支援セミナー

企業や各関係機関をはじめとして広く市民を対象にセミナーを実施した。

開催日	内容	参加者 (人)
10月26日 オンライン開催	講演 「ASDの若者たちへの就労支援～精神科医としての実践から～」 講師 児童精神科医・千代田クリニック院長・iPEC所長 吉田 友子氏	274
1月17日	講演 「障がい者・健常者がともに共存共栄できる社会づくり」 講師 株式会社カムラック 代表取締役 賀村 研氏	62

(4) 3センター合同会議

令和4年度より、福岡障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター野の花との3センター間で会議を定期的（2か月に1回程度）に開催し、情報交換や福岡市内における就労支援の現状と課題について協議した。また、7月には合同で研修会を開催した。

区分	合同会議（回）
5年度	6

・合同研修会

開催日	内容	参加者 (人)
7月28日	講演 「法制度改正の動向とそれに伴う支援のあり方」 講師 九州産業大学 人間科学部 臨床心理学科 教授 倉知 延章氏	64

(5) 民間の就労支援機関への技術的支援事業

市内の民間就労支援機関の職員を対象とした研修会を実施した。

①就労支援事業所研修会

就労支援の基本的な視点等について、医療や企業で障がい者雇用に携わる立場から支援者に求めるものとして講話及び参加者間での意見交換を実施した。

開催日	内容	参加者 (人)
6月9日 会場開催	講演 「発達障がい者への支援のヒントと就労支援の工夫」 講師 中島心理相談所 臨床心理士 中島 美鈴氏 講義 「企業での支援に必要な視点、支援員の役割について」 就労支援センター 就労支援コーディネーター	45
9月6日 会場開催	企業（5社）と就労支援事業所の情報交換 株式会社 朝日ビルメンテナンス 株式会社 キンヤ 九州商運 株式会社 一般財団法人 九州電気保安協会 株式会社 ミスターマックス・ホールディングス	27
2月14日 会場開催	講演 「障がい者雇用に取り組む企業から学ぶ就労支援」 講師 株式会社 テノ.コーポレーション 事業管理部 労務管理課 事務室 緒方 雄介氏 意見交換	26

②スタートアップ講座

出前講座や企業見学の依頼を受け実施した。

区分	職員向け	利用者向け
実施回数	0	2
参加人数	0	27

③就労支援事業所への技術的支援

就労支援事業所に対して、体験実習先や企業情報等を提供し、支援の内容や方法などについて協働支援を実施した。

区分	就労継続支援A型・B型事業所等	就労移行支援事業所
実事業所数	29	36
実人数	22	83

(6) 大学・短大との連携支援

①大学・短大の障がいのある学生への就労支援連絡会

学生支援・就職支援担当者を対象としてセミナーを実施した。

参加機関	11
参加人数	14

開催日	内容
1月23日	講演：「企業の障がい者雇用の取り組み」 講師：株式会社九州日立システムズ 人事総務本部統括本部長兼総務部部长 河野 宏子氏 講師との質疑応答、意見交換等

②企業・学生・支援者交流会

企業・障がいのある学生・学生の支援者が互いを知る場として交流会を開催し、その後、希望する学生に対しインターンシップを実施した。

参加人数	企業	学生	支援者	計
	9	12	12	33

参加企業：ENEOS グローブエナジー株式会社
ASKUL LOGIST株式会社
ANA福岡空港 株式会社
株式会社トライアルホールディングス
九州地理情報株式会社

(7) 就労支援相談員事業

就労支援相談員が企業を訪問し、障がい者雇用に向けた各種相談に対応するとともに必要に応じコーディネーター、ジョブコーチと連携し雇用に関する提案等を行った。

①企業訪問等による相談 (単位：件)

企業訪問等	3,594
-------	-------

②企業セミナーの実施

企業を対象にした障がい者雇用セミナーを開催した。

うち初めて障がい者雇用を検討する企業を対象として、障がい者雇用スタートアップセミナーを2回開催した。

※第1回のみ動画配信

	日程及び内容	参加者
第1回	6月5日（月）～6月16日（金） 動画配信 「障害者雇用促進法の改正に向けて」 福岡労働局職業安定部職業対策課 障害者雇用担当官 佐々木 峰子氏	122社 194人
	10月20日（金） 「企業アンケート集計結果報告」 就労支援センター 就労支援相談員 「精神疾患のある従業員への対応」 福岡市精神保健福祉センター 所長・医師 川口 貴子氏	77社 100人
第3回	11月15日（水） ＜障がい者雇用スタートアップセミナー＞ 「障がい者雇用の現状と取り組みについて」 就労支援センター 就労支援コーディネーター 「障がい者雇用の取り組みについて」 株式会社NTT西日本ルセント経営企画部アドバイザー担当 課長 林 祐行氏	16社 18人
	12月13日（水） ＜障がい者雇用スタートアップセミナー＞ 「障がい者雇用における留意点」 就労支援センター 就労支援コーディネーター 「障がい者雇用の始め方～雇用定着まで～」 株式会社デンソーソリューション西日本統括支社業務改革2室係長 石橋 幸子氏	18社 21人
第5回	2月8日（木） 「企業に求められるこれからの障がい者雇用」 花椿ファクトリー株式会社 前代表取締役 上田 潔氏	46社 52人
	3月5日（火） ＜企業向け発達障がい者支援セミナー＞ 「発達障がいの特性と対応について」 福岡市立発達障がい者支援センター地域支援マネージャー 堂園 文	35社 38人

③障がい者雇用サポートデスクの活動状況

来所	電話	所外・訪問	メール等	計
15	426	268	364	1073

出前講座

実施回数	参加人数	テーマ
5	75	「働き続けるために大事なこと」、「聞こえ」を理解する～職場のコミュニケーションのヒント～」等

④サポーター企業

短期間働く事を体験できる企業として、サポーター企業の登録企業数の確保に努めた。

登録企業数	101
-------	-----

6 その他

(1) 各種広報等の実施状況

ホームページでジョブコーチ活動報告等を掲載するとともに、広報誌を発行した。

発行月	内 容
7	令和4年度『事業報告書 第20号』
9	広報誌『はっぴーわーく』第61号 「発達障がい者支援センター、中央障がい者フレンドホーム、センター移転案内」 「センター長挨拶」
2	広報誌『はっぴーわーく』第62号 「センター紹介」「年始挨拶」

(2) 研修・研究

依頼に応じ、研修等への講師派遣や見学等の受け入れを行うとともに、積極的に職場研修を行い研鑽に努めた。

①職場研修

研修名	内容	講師	参加人数	実施日
服務研修	服務について	障がい者就労・発達支援課	21	4月28日
個人情報研修	個人情報について	障がい者就労・発達支援課	21	4月28日
接遇研修	相手を尊重したコミュニケーションスキルを高める	特定非営利活動法人 アットホーム福祉会 長浜 美智子 氏	21	9月 1日
専門研修	ワークサンプル幕張版について	独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構 福岡障害者職業センター 小川 直人氏	14	10月12日
人権研修	誰もが働きやすい職場をめざして ～ハラスメント問題の防止や解決に向けて～	福岡市人権啓発センター 吉田 祐子氏	20	10月24日
専門研修	S S T研修(2回実施)	SST普及協会認定講師 長浜 美智子 氏 龍 忠史 氏	17 18	12月 1日 12月 8日
専門研修	視覚障がいについて	心身障がい福祉センター 障がい者リハビリテーション課	15	1月18日
メンタルヘルス研修	働くことと健康管理について	株式会社 中尾労働衛生コンサル タント事務所ワーク&ヘルス 代表取締役・保健師 中尾 由美氏	16	2月 6日

②講師等の派遣

派遣先	派遣内容	派遣職員の 職種	受講者数	実施日
福岡市就労自立支援センター	職員研修（センターの支援事例）	社会福祉職	14	5月24日
福岡市教育センター	職員研修（高等学校における発達障がいのある生徒の理解と支援）	社会福祉職	25	7月27日
福岡市医師会看護専門学校	フィールドワーク（精神看護学） ※概要説明と施設見学	社会福祉職	4	8月17日
博多高等学園	1年生就職セミナー	社会福祉職	80	9月4日
福岡女学院大学大学院	心理実践実習 ※概要説明と施設見学	社会福祉職	14	9月8日
高齢・障害・求職者雇用支援 機構 福岡支部	障害者職業生活相談員資格認定講習	社会福祉職	117	9月27日
久留米大学	障がい学生に対する就活セミナー	社会福祉職	16	10月4日
西区保健福祉センター	精神保健家族講座	ジョブコーチ	14	11月17日
中央区保健福祉センター	精神保健家族講座	ジョブコーチ	13	11月24日
福岡市精神保健福祉センター	在職者（ピアスタッフ）・雇用者対象セミナー	社会福祉職	20	1月25日
清水高等学園	就職セミナー	社会福祉職	90	2月14日
発達教育センター	保護者セミナー	事務職	70	3月2日
博多法人会	障がい者就労支援セミナー	社会福祉職	70	3月6日
医療機関の障害者雇用ネットワーク	医療機関における障がい者就労に関する セミナー	社会福祉職	110	3月13日

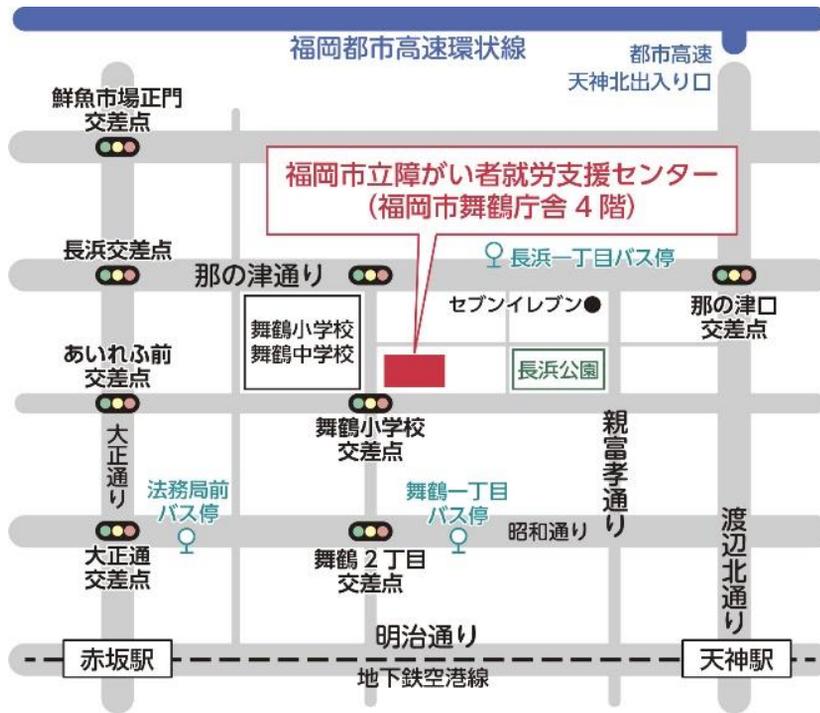
③見学者

福岡職業センター 他 29機関 計410名
 （内その他当日対応 49名 講義参加者による見学 48名含む）

④研究・実践成果発表会

事業団が実施する研究・実践成果発表会に、下記のテーマで論文を提出した。

テーマ 「障害者雇用に係る企業アンケート調査等の集計結果
 ～企業における精神障害者雇用の取り組みを探る～」
 執筆者 就労支援相談員 高坂 修
 就労支援コーディネーター 篠原 玲子



-  西鉄バス 「長浜一丁目バス停」 徒歩3分
-  西鉄バス 「法務局前バス停」 徒歩5分
-  西鉄バス 「舞鶴一丁目バス停」 徒歩5分
-  地下鉄空港線 「赤坂駅」 3番出口 徒歩6分
-  地下鉄空港線 「天神駅」 1番出口 徒歩9分

令和5年度 事業報告書

— 第 21 号 —

発行年月日：令和7年1月

発行者：社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター

〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号

福岡市舞鶴庁舎4階

TEL (092) 711-0833

FAX (092) 711-0834